

野菜作りの健康診断

1. 肥料成分の働きと必要要素

*チッソ *磷酸 *カリ (右図参照)

*石灰

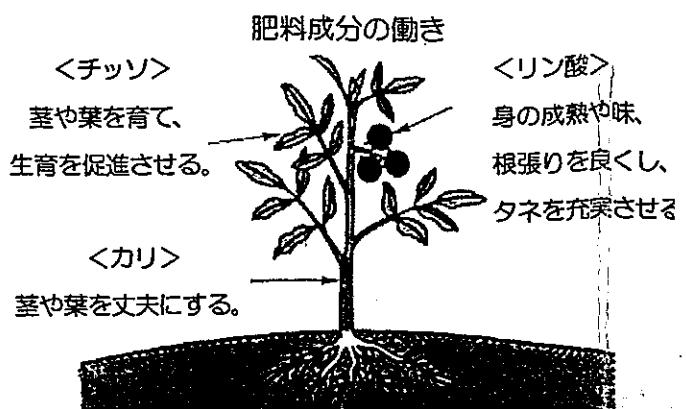
欠乏すると、トマト・レタスに欠乏症が出る

*苦土(葉緑素を形成)

不足すると葉脈が黄変する。
トマト・ナスに症状が出る。

*鉄 *ホウ素 *モリブデン

長年使用した土壌には、消石灰は土を硬くするので
「有機石灰ネオベスト」を使用。



石灰は、土の酸度を調整し、要素欠乏症を防ぐ。

2. 肥料の施し方

*果菜類(きゅうり・トマト・なす等):

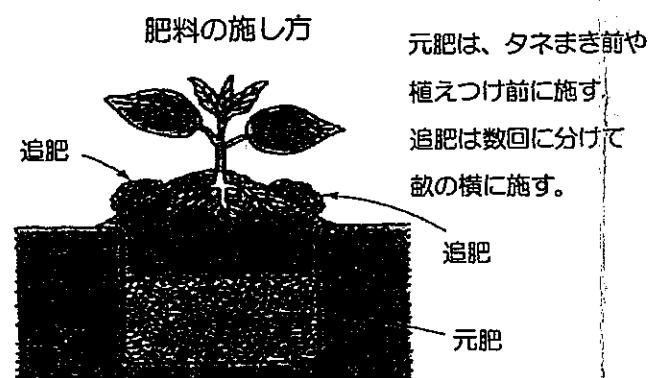
元肥 65%～ 追肥 35% (数回に分肥)

*葉菜類(キャベツ、白菜等):

元肥 50%～ 追肥 50%

*根菜類(人参、ゴボウ等):

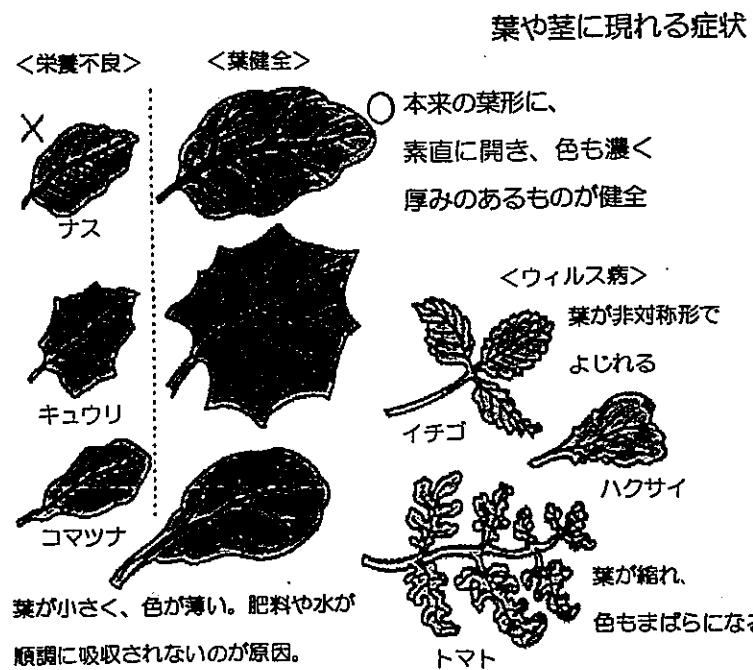
元肥 50%～ 追肥 50%



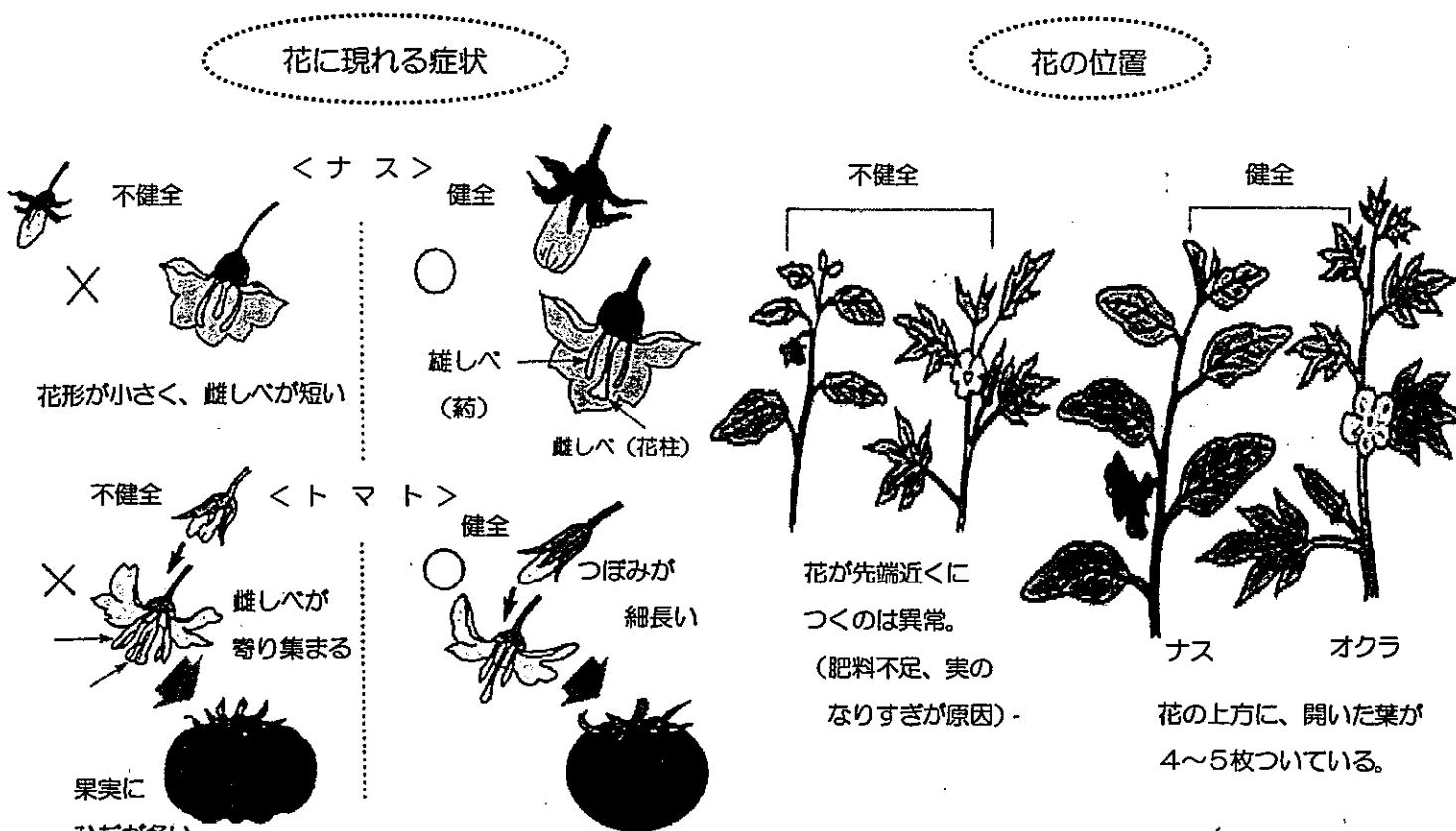
消石灰は、定植の数日前に施肥しますが、「ネオベスト」は定植当日でも障害ありません。

3. 葉や茎の変化による診断

*健康な葉は緑が濃く、厚みがある。 *花の大きさ、色、着果を見る。 *根の様子



4. 花や果実による診断



果実に現れる症状



葉の先端や果実の花落ち部分(下の方)が
黒変するのは、石灰の不足によって誘発される。

「NHK 趣味の園芸」参照